

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名	スポーツ体験教室開催事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会	課長名 高木 敏明
	施策	20	生涯学習の推進	所属課	生涯学習課	担当者名 中山 あや
	基本事業	67	学習・スポーツの啓発	所属班	スポーツ振興班	(内線) 1505
				法令根拠		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	5
	1	10	6	1	10773			コスト削減優先度評価結果	9

事業期間  単年度のみ  単年度繰返(開始年度 平成14 年度)  期間限定複数年度 ( ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)  
【事業の内容】  
サッカー・卓球・ミニバレーボール・剣道・エアロビクス・ランボリン・ゴルフ・ヨガ・高齢者卓球・リズム体操・バドミントン・バレーボール・レクレーションダンス・タヒチアンダンス・スポーツチャンバラ・ピラティス教室にそれぞれ各種目協会等から講師を派遣してもらい、スポーツを体験する場を提供する。

【業務の流れ】  
各講師と事業内容協議、施設利用申請、募集冊子作成、申込受付、受講生決定・通知、開講式出席、受講料徴収・収納、閉講式出席、報償費・委託料支払事務

【主な予算費目】  
時間外勤務手当 報償費 消耗品費 役員費 委託料 使田料及び賃借料

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 前期18教室、後期24教室行い905名の参加があった	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度に同じ 新しい教室を入れていく予定
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 参加者数 人 イ 開催教室数 教室
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	さまざまなスポーツを体験する	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 市民 人 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	学習やスポーツに取り組むことの必要性を認識できる 施設や学習内容を知ることができる	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 参加者数 人 イ
		⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 取り組んでいないが今後取り組んでみたいと思う市民の割合 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移										
投入量	国庫支出金	千円								全体計画 ~ 年度
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	604	1,034	1,100	1,204	1,110	1,110	1,110	
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	720	1,597	1,894	1,514	1,829	1,829	1,829	
	(A) 事業費計	千円	1,324	2,631	2,994	2,718	2,939	2,939	2,939	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円	772	593	645	447	584	584	584	
	人件費									
正規職員従事人数	人	5	5	5	6	5	5	5		
延べ業務時間	時間	350	350	350	61	61	61	61		
(B)人件費計	千円	1,390	1,393	1,393	243	243	243	243		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,714	4,024	4,387	2,961	3,182	3,182	3,182		
活動指標	ア 人 イ 教室	800 38	760 37	800 40	905 42	905 42	905 42	905 42	総トータルコストのみ記載 目録合計値 22年度	
対象指標	ア 人 イ	53303	53909	54518	54518	55124	55732	56281		
成果指標	ア 人 イ	800	760	800	905	905	905	905		
上位成果指標	ア % イ	60.8	63.4	62.8	63.1	63.3	63.8			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
平成14年度より市民のスポーツへの意欲を喚起、スポーツ未実施者の掘起こしときっかけ作り、スポーツの日常化を目的としたスポーツ体験教室として開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？  
平成14年度は1期5教室、参加者84名でスタートし、平成20年度は2期42教室、参加者905名の事業に成長した。  
開催種目も参加者のニーズに沿ったものを用意し、老若男女問わず参加できるように工夫をしている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

- ・住民からは感謝の言葉をいただくことがある。
- ・教室によっては、募集人員に制限があるものもあり抽選にもれた人からの苦情もある。
- ・子ども対象の教室の開催時間を遅くなるので変更して欲しいという要望がある。

事務事業名	スポーツ体験教室開催事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 意図のスポーツ未実施者の掘起こしを行うことにより、結果の学習やスポーツに取り組むことの必要性を認識できる。施設や学習内容を知ることができるに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ スポーツ振興法第7条「地方公共団体は、ひろく住民が自主的かつ積極的に参加できるような運動会、競技会、運動能力テスト、スポーツ教室等のスポーツ行事を実施するように努め、かつ、団体その他の者がこれらの行事を実施するよう奨励しなければならない」が定めるところにより妥当であると考えられる。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 予算、場所、講師の問題がクリアされればさらに向上する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 年間900名あまりの市民がスポーツを体験する場を失い、スポーツに取り組むことの必要性を認識(成果)できない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) 総合型地域スポーツクラブへの移行 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷  <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 現在も講師謝金は低額に抑えており、削減余地は無い。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 各種目協会に委託するなど効率的に行っている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 参加者に千円の負担をお願いしている。(ゴルフ教室は6千円)

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性について ・開催教室についてホームページに載せたり、子ども向けの教室は学校にピラを配ったことで、昨年度より多くの人が体験教室に参加した。 ・参加者が増加することは成果指標向上につながるが、事業運営にとってはマイナス面もある。 ・同じ人が同じ教室に毎回も参加しているケースもあり、受講生決定に際し、地選を行なっている

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ・この教室を体験した市民が総合型地域スポーツクラブに加入することにより、円滑な事業運営が行なえる。また、クラブの活性化にもつながり、クラブ独自の財源が増え、市補助金削減につながる。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			○																			
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ・総合型地域スポーツクラブへのスムーズな移行→トランポリン教室は教室講師＝ヴィーブルFUNクラブ指導者の構図ができあがっており、多くの参加者がヴィーブルFUNクラブに加入した。今後もこの構図で取り組んでいきたい。 ・クラブ種目の充実、指導者の確保→教室参加者をその気にさせるメニューや指導者の確保が必要である。クラブ事務局と連携して取り組むことで解決できると思う。																							

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	1	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	1	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )